## 法政大学出版局◎新刊のご案内

2016年3月11日

① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。 希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。

② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させて頂きますのでご了承下さい。

③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。

部数

部数

部数

部数

④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 250

帖合・番線

部数 | 法政大学出版局 **2016年3月下旬配本** 定価5940円(本体5500円+税)

A5判上製·406頁

## 堀 朋平 著

〈フランツ・シューベルト〉の誕生 喪失と再生のオデュッセイ

ISBN978-4-588-42016-0 C1073

二つの世紀を越えて燦然とその名を歴史に刻むフランツ・シューベルト。一人の青年が大作曲家へと孵化するには、かけがえのない友と出会い、そして別れなければならなかった――。遺された楽譜、友人との書簡、そして近代化に揺れ動く19世紀ヴィーン。それらが重なるとき、シラー、ゲーテ、ノヴァーリスらが闊歩するロマン主義のただなかに、ドラマは浮かび上がる。気鋭の著者による音楽思想劇!

☆関連書: 『絶対音楽の美学と分裂する〈ドイツ〉』 (青弓社)、W.ウェーバー 『音楽テイストの大転換』 (小局刊)。

帖合・番線

| 法政大学出版局 **2016年3月下旬配本** 定価3240円(本体3000円+税) | **星名 宏修 著** 

四六判上製・316頁

《サピエンティア43》

植民地を読む「贋」日本人たちの肖像

ISBN978-4-588-60343-3 C1320

★ 敗戦時、軍人を除き30万以上の日本人が台湾で暮らしていた。自分は被植民者より優れた存在だと考える人々は どんな日常生活を送り、それを表現したのだろうか。そもそも「日本人」とは誰のことだろうか。ほとんど無名の「日 本人」作家たちの小説やラジオドラマを通じて、帝国日本の集団的な空想の一端を明らかにする。国民を担保する のは「国語」か旅券か血液か。
【日本史・台湾史・文学】

☆関連書:『世界史のなかの台湾植民地支配』(岩波書店)、『図説台湾の歴史』(平凡社)ほか。

帖合・番線

四六判上製・336頁 《叢書・ウニベルシタス**1040**》

ギュンター・アンダース 著/青木 隆嘉 訳

ISBN978-4-588-01040-8 C1310

核の脅威原子力時代についての徹底的考察

★ 日本で反核運動に参加した際、日本では原子力時代はすでに「経験」になっていると著者は語る。人々は罪や責任を強調するが、彼はこうも言う。「〈原子爆弾とともに生きる〉という言い草には、もううんざりしているのだ」。徹底的な考察はここから始まる。唯一の被爆国で、3.11を「経験」しているわれわれは、いま何を考えるべきか。その道筋がここにある。アンダースは3.11の後に最も再評価されている。 【哲学・思想】

☆関連書:『カタストロフからの哲学』(以文社)、本田宏・堀江孝司編『脱原発の比較政治学』(小局刊)ほか。

帖合・番線

法政大学出版局 **2016年4月下旬配本** 予価3672円(本体3400円+税)

A5判並製·406頁

秋富克哉·安部浩·古荘真敬·森一郎編

続・ハイデガー読本

ISBN978-4-588-15077-7 C1010

★★ 生涯の思索の道程を詳細にたどって好評を得た『ハイデガー読本』とは異なり、古代・中世・近現代の哲学思想史全体のなかにハイデガーを位置づける、初の総合的な試み。思索の源泉となったさまざまな哲学的伝統や、同時代または後続の思想家たちとの緊張にみちた交渉・影響・対決の場を描き出し、さらに日本での受容史までをも眺望する一冊。50名に及ぶ精鋭執筆陣の知を結集した必携の書。 【哲学】

☆『ハイデガー読本』(2014年11月刊)は好評3刷出来。並べて展開をお願いします!

法政大学出版局 **2016年4月下旬配本** 予価6696円(本体6200円+税)

帖合・番線

木下 千花 著

A5判上製・600頁

溝口健二論 映画の美学と政治学

ISBN978-4-588-42017-7 C1074

★ 溝口健二の演出における「感覚の政治学」、占領下の女性の解放から植民地主義や女性の人権蹂躙など矛盾をはらむ 重層性を女性の身体を通して露呈させる「政治学」、日本的なものや映画そのものの「美学」を軸に、記事、検閲、台本な ど一次資料の調査、身体論、ジェンダー研究など、学際的な横断において映画学研究が本来有する〈力〉を発揮する研 究であると同時に、著者自身による「批評的」 視点が、あらためて「はじめての溝口健二」 を提示する。 【映画・芸術】

☆関連書:長門洋平『映画音響論』(みすず書房)、蓮實重彦『監督 小津安二郎』(筑摩書房)。

ご担当者様 氏名:[

] 担当ジャンル: [

] TEL:[

E-mail:

:[ ]

\*配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。

- \*宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- \*今後、新刊内容のデータ等を e メールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。

法政大学出版局

〒 102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 Fax. 03-5214-5542 E-mail: sales@h-up.com URL: http://www.h-up.com/